

茨高の授業は、先生方が理解の難しいところを丁寧に解説してくださるため、非常にわかりやすく学ぶことができます。なぜ、どこで問題につまずいているのか、私たちのどこの理解が足りないのかを把握し、その上で私たちが自分で答えにたどり着けるよう適切なヒントをくださいます。入学当初、コロナ禍で十分に学習と理解が足りていなかったことから毎週数学や英語の小テストを行ってくださったおかげで、理解の足りないところを自覚することができ、先生方に質問をしに行ったり自分で補ったりなどの対処をすることができました。また、化学の先生方の作成してくださるプリント類は普段の勉強だけでなくテスト前の勉強にも非常に効果的で、授業のポイントを押さえた問題と私がどの段階で間違えたのかよくわかる解説がついており、私は参考書よりもよく利用していました。進路指導部では赤本の貸し出しや以前の大学受験者の受験の様子をまとめたものなどがあり、私はこれらを指定校推薦で受験するときに面接の様子やどのような質問をされるのかなどを参考にさせてもらい、面接の練習をするときに役立ちました。また小論文の試験対策には、課題となる教科の先生に私が過去問を解いたものを添削していただいたり、小論文の対策用に読むべき本を貸していただいたりしたおかげで無事に大学合格することができ、茨高の先生方にはとても感謝しています。

私はいずれかの部活動に所属せず、また委員会や生徒会にも所属したことは一度もありませんでしたが、2年生と3年生の時に行った文化祭の時の胸の高鳴りと高揚感は一生涯忘れられない素晴らしい思い出となりました。クラス一丸となって出し物の準備をし、1人でも多くの保護者の方々や生徒に訪れてもらうという1つの目標に向かって、各々ができることをしようという団結と自分のクラスに貢献するという使命感と達成感は、中学生の時の文化祭では味わうことのできぬ特別なものでした。また、3年生で野球応援に行った際、私にとって初めての野球観戦でもあったのですが、残念ながら敗退してしまいとても悔しかったのを覚えています。クラスマッチは1年生と2年生の時にコロナ禍のため茨高で行われましたが、自分のクラスのバレーやバスケットを観戦し、勝敗の行方について友人たちと大いに盛り上がりました。3年生の時にはひたちなか市総合体育館で実施され、普段とは異なる特別なイベントという感じがして妙にワクワクしたのを覚えています。私のクラスは優勝することができませんでしたが、友人たちとの楽しい思い出を沢山作ることができました。

私は高校に進学する際に新しい環境に身を置きたいと思ったことと、私にはそのような思い切った挑戦が必要だと考えたこと、また、茨高はレベルの高い学校であるということを加味して、知り合いが一人も居ない高校である茨高を選びました。茨高では1年生、2年生の時は高入生だけで編成されたクラスでしたが、私が入学したのはちょうどコロナ禍だったため、休校明けに久しぶりに登校した時はほとんど初対面だったので緊張しましたが、次第に打ち解けあうことができ、今では私の良き友人たちとなってくれました。私は部活も委員会も所属していなかったため、3年生になるまでは一貫生と関わったり話したりする機会がありませんでしたが、3年生になった時に自分と同じクラスになった一貫生たちと話したり様々な行事を行ったりしていくうちに、私が最初に感じていた一貫生と高入生との間の壁のようなものが消えていくのを感じました。また、茨高の良いところとして、課外授業が豊富なのがとても良かったです。普段の平日の放課後や朝のSHR前のみならず、夏休みや冬休みの間も同様に受けることができるので、勉強から離れすぎないように自分が怠けるのを予防し、自分が受けたいものを選択して受けることができました。それだけでなく、指定校推薦で受けられる大学が豊富にあるのは、茨高を選んで特によかったと思う点です。私は3年生になってから指定校推薦を受けると決めましたが、3年生になる前から指定校推薦のために勉強だけでなく部活や生徒会に

入って努力している人はいたはずです。その人たちだけでなく、私も指定校推薦を受けることができたのは、ひとえに茨高がこれまでに優秀な生徒たちを送り出してきたからです。私はそんな茨高の代表として、大学での勉強を頑張っていきたいと思いました。

私は大学で生物系を専攻しますが、社会と生命科学の関係だったり、排水処理に大きく関わる硝化菌や化石によって生物の進化の歴史を明らかにしたりなど、多くのことに興味があり、将来についてはまだ明確に決まっているとは言えません。しかし大学で学んでいくうちに、何か研究したいことが見つかったり目標ができたり、またはそのきっかけを得られるのではないかと考えています。もし見つけられなかったとしても、これから大学で学ぶことは決して無駄にせず、せっかく得られたこのチャンスをできる限り活かしたいと思います。